

令和6年3月26日 新しい東北官民連携推進協議会運営委員会

## ○次のフェーズに向けた岩手県内の体制構築の為にCDN事業

「被災者・被災地の課題解決を図るコーディネート」「岩手県内の支援体制構築・強化」「被災地の現状とノウハウを全国へ発信」の3を軸とした取り組みを、岩手県沿岸部で活動する中間支援NPO等と協働で行いました。

## ○被災者の主体性醸成による地域コミュニティ支援事業

被災者の心の復興に資する取り組みを行うもので、主に災害公営住宅の自治会向けのコミュニティ形成支援を行う事業です。今年度も岩手大学の船戸義和特任助教とともに、岩手・宮城の両県にて、自治会及び支援者の交流事業や、防災訓練等を絡めたコミュニティ形成支援を実施しました。

## ○岩手NPO×県外企業 交流会

岩手県で復興支援に取り組むNPOと、首都圏の企業の皆さんとの交流会を令和6年1月17日に実施しました（主催：岩手県）。参加団体としては、30団体（企業）以上の皆様にご参加頂き、今後の連携のマッチングを行いました。

## ○東北6県の相互支援ネットワークを構築する事業（東北六県ROLL）

東北広域を活動領域とする、一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンターを事務局として、いわて、みやぎ、ふくしまの連携復興センターと、青森、秋田、山形の中間支援NPOと東北圏域でのネットワーク構築を目指し東北六県ROLLを行った。

# みちのく復興・地域デザインセンターとは？

## ■ 設立趣旨

東日本大震災からの復興を進めるために、

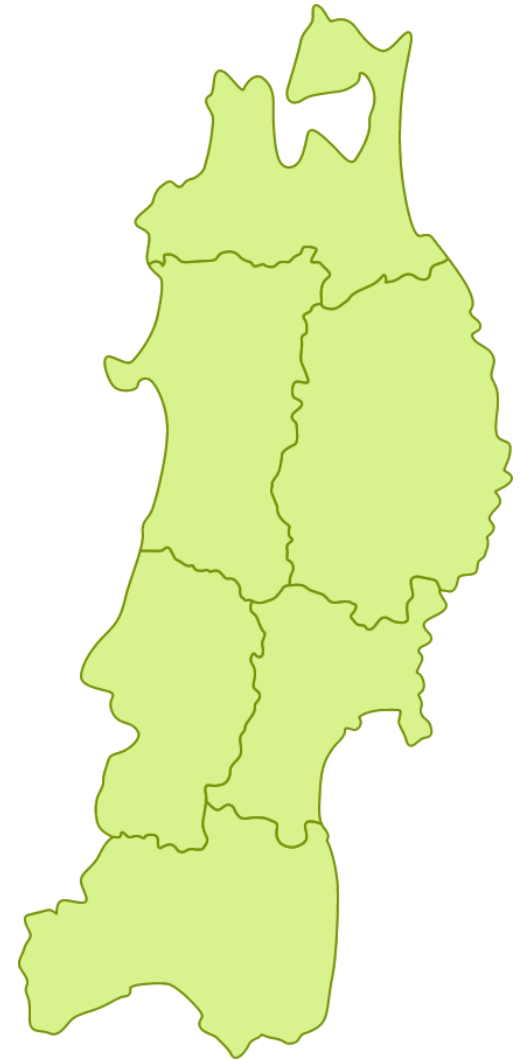
特定非営利活動法人いわて連携復興センター  
一般社団法人みやぎ連携復興センター  
一般社団法人ふくしま連携復興センター

の3県の復興連携センターと連携しながら、東日本大震災からの復興に向けたコーディネートに取り組んで参りましたが、今後さらに東日本大震災からの復興を推進し、復興経験を活かした東北地方の持続可能な地域づくりが継続して推進される状況を実現するためには、復興に取り組む3県域の機能強化、及び3県域以外からの関心喚起や資源の掘り起こしが必要と考えております。

3県域において、

「市民活動分野の調査・研究」  
「復興支援活動がさらに推進する為の3県域のコーディネート」  
「調査・研究・コーディネートでえられた知見・経験に基づく提言・発信」

の活動を通し、東北外で災害復興や防災、また平時の地域づくりに取り組む皆様に、東日本大震災からの復興経験を波及・活用し、持続可能な地域づくりに資する地域間ネットワークを構築する事を目的として3県の連携復興センターにより、【一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター】を設立します。



# みちのく復興・地域デザインセンター概要

## ■法人概要

名称	一般社団法人みちのく復興・地域デザインセンター
設立	平成31年3月5日
代表理事	天野和彦 (一般社団法人ふくしま連携復興センター 代表理事) 木村正樹 (一般社団法人みやぎ連携復興センター 代表理事) 葛巻 徹 (NPO法人いわて連携復興センター 代表理事)
所在地	〒980-00142 宮城県仙台市青葉区本町3丁目1番17号 やまふくビル3F
TEL	022-797-6708
FAX	022-797-6788
事業内容	災害復興や持続可能な地域づくりを推進するための調査、研究 災害復興や持続可能な地域づくりを推進するためのコーディネート 調査、研究やコーディネートから得られた知見・経験に基づく提言・発信

# 東北六県ROLLとは？

## ■東北六県ROLLとは？

### 持続可能な被災者支援の検討と東北圏域での連携体制基盤づくり

>被災者支援に係る現状、課題、優良事例等の共有及び全国への波及

- これまでの取り組みで得られた知見や学びを被災地内へ共有し、今後の継続的な被災者支援へ活かすと共に、被災地外へ発信する事で、今後の災害対応や平時の地域づくりに活かせる教訓として全国で活かしていただきたいと考えています。また、各県の連携復興センターと協働で主催した「3県合同シンポジウム」も継続開催し、重要な支援策や未来への提案など、被災者支援につながる役割を認識して意見交換を重ねより良い形で実施してまいります。
- 被災地からの経験と学び、ノウハウを地域資源の類似性が多く存在する青森県・秋田県・山形県において共有すると共に、この3県での取り組み事例や、支援ノウハウを共有し、被災者支援団体同士が相互支援できるような新しい東北のプラットフォームの構築を目指してまいります。

# 東北六県のNPO連携のプラットフォーム

■ 2024.3.17 (ハイブリッド開催)

東北六県ROLLこれからミーティングin仙台

## ●開催目的

13年経った今でも被害に苦しんでいる方、元の生活を取り戻せずにいる方が多くいらっしゃいます。福島県内ではようやく避難指示が解除された地域もあり、そういった地域においては東日本大震災の他の被災地で13年前に取り組み始めた復興への道のりを、これから歩いていくこととなります。引き続き息の長い支援が必要であることは間違いありません。適切な支援を届けていくためにも被災地の現状を正しく理解し、多くの事例やノウハウを集結し共有する必要があります。本フォーラムでは、東北の各地で被災者支援活動や地域づくり活動をされている方々から、被災地の現状やこれまでの支援活動の事例を共有いただきます。東北六県でのノウハウの共有を進めることで、東北が一体となって復興へ向けて歩いていくための一助となれたらと考えます。

## ●登壇者

【広域避難の現状の取り組みから考える】 一般社団法人ふくしま連携復興センター 事務局長 片平氏

【広域避難者を対象とした北東北でのサロン事業】 NPO法人あきたパートナーシップ 理事長 畠山順子氏

【東松島市におけるコミュニティ形成支援】 一般社団法人みやぎ連携復興センター 代表理事 木村正樹氏

【誰一人取り残さない持続可能な地域のために】 NPO法人きらりよしじまネットワーク 事務局長 高橋由和氏

【進行】 NPO法人あおもりNPOサポートセンター 理事長 齊藤雅美氏